

平成29年度 教育委員会の事務 に関する点検評価報告書



平成30年11月
海津市教育委員会

目 次

1 はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）	
(4) 点検・評価結果の構成	
2 教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・ 3
(1) 会議の開催	
(2) その他の活動状況	
①教育委員の研修状況	
②教育委員の学校訪問等	
③総合教育会議への出席	
④教育委員の関係行事等への出席	
⑤広報活動	
3 「海津市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価	・ ・ ・ ・ ・ 7
(1) 海津市の教育理念	
(2) 計画の体系	
(3) 施策別評価	
4 外部評価（学識経験者による意見）	・ ・ ・ ・ ・ 39

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律^{※1}（昭和31年6月30日法律第162号）」が改正され、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することとされました。

このことから、海津市教育委員会は効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆さまへの説明責任を果たすため、平成20年度から学識経験者の知見を活用した教育委員会活動の点検・評価を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、海津市教育振興基本計画に掲げられた「基本施策」とし、それぞれの点検・評価は、事業の行程管理の把握と進捗状況を踏まえて行っています。

(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）

点検・評価は、平成29年度に実施した事業の取り組み状況を明らかにするとともに、今後の課題と対応の方向性を示すことと致しました。

※評価の目安

- A…計画どおり又は計画以上の成果を得た
- B…概ね目標を達成できた
- C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方から意見、助言をいただきました。

(4) 点検・評価結果の構成

ア. 基本目標

海津市教育振興基本計画に掲げる基本目標です。

イ. 施策

海津市教育振興基本計画の基本目標に掲げ、重点的に取り組む施策です。

ウ. 基本施策〔事業内容、実績、対象者等〕

各施策に掲げられた具体的な取り組み事項を示しています。

エ. 成果課題等

事業の実施に伴い、教育上効果があった内容、成果及び課題等を示しています。

オ. 内部評価

計画目標に対し取り組みの進捗状況などを踏まえA～Cの3段階評価を行っています。

カ. 担当課

事業を実施した担当課等です。

※1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



2 教育委員会の活動状況

平成 29 年度の教育委員会の活動について、「教育委員会会議」と「学校訪問」などの項目に分け、教育委員会自身による点検を行いました。

(1) 会議の開催

教育委員会会議は、原則として毎月 1 回の予定で開催することとして、平成 29 年度の開催は 13 回、付議された議案は合計 116 に上りました。

以下、平成 29 年度の開催状況の詳細を報告します。

○平成 29 年度教育委員会会議の開催状況

回数	期 日	案 件
第 1 回	平成 29 年 4 月 5 日 (水)	3 件
第 2 回	平成 29 年 5 月 17 日 (水)	20 件
第 3 回	平成 29 年 6 月 22 日 (木)	7 件
第 4 回	平成 29 年 7 月 21 日 (金)	10 件
第 5 回	平成 29 年 8 月 8 日 (火)	5 件
第 6 回	平成 29 年 9 月 14 日 (木)	8 件
第 7 回	平成 29 年 10 月 3 日 (火)	2 件
第 8 回	平成 29 年 11 月 8 日 (水)	13 件
第 9 回	平成 29 年 12 月 20 日 (水)	6 件
第 10 回	平成 30 年 1 月 15 日 (月)	3 件
第 11 回	平成 30 年 2 月 13 日 (火)	20 件
第 12 回	平成 30 年 3 月 6 日 (火)	10 件
第 13 回	平成 30 年 3 月 26 日 (月)	9 件
合 計		116 件

ア 議案について

教育委員会の権限に属する事務の執行は、「海津市教育委員会教育長事務委任規則第 2 条^{※2}」に掲げるものを除き、その権限を教育長に委任すると定められていますが、一方で、同規則第 3 条は委任された事務についても重要かつ異例の事態が生じたときは教育委員会の決定に委ねるとしており、実際には重要事項の多くは教育委員会の会議の場で決定され、平成 29 年度に付議された議案は全て会議規則に従い適切に処理されました。

また、議事の終了後には事務局各課から事業の実績、進捗状況及び計画等について報告又は説明を行い、今日的な教育課題への対応等、共通の認識を持ちつつ理解を深めることと致しました。

※2) 海津市教育委員会教育長事務委任規則 (抜粋)

(事務委任)

第2条 教育委員会は、次に掲げる事項を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 1件1,000万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の任免その他の人事に関すること。
- (8) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の懲戒に関すること。
- (9) 1件1,000万円以上の工事の計画を策定すること。
- (10) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃を行うこと。
- (11) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を市長に申し出ること。
- (12) 法律若しくは、これに基づく政令又は条例に基づき置かれている附属機関の委員又は委員を委嘱すること。
- (13) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (14) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (15) 公文書の公開の決定に関すること。
- (16) 個人情報の開示、請求及び削除の決定に関すること。
- (17) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による点検及び評価に関すること。

イ 議事について

簡易な事務手続き等の案件を除き、条例や規則の改正或いは事業計画の承認等、重要事項の審議は、問題意識を共有して事業効果の高い結果が得られるよう、事務局に詳細な説明を求め、活発な議論が展開されました。

また、事務局は、資料の提示や詳細な説明等、より多くの情報提供に努め、メリハリのある会議の運営に努めました。

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議以外にも研修や学校訪問等の実施或いは関連する教育団体との懇談などに参加しました。

①教育委員の研修状況

事業名	期 日	場 所	内 容
市内視察研修	平成29年11月8日(水)	津屋川水系清水池ハリヨ生息地・北部浄水公園内のハリヨ・早川邸	市内を視察
市外視察研修	平成30年 1月31日(水)	杉原千畝記念館・中観音堂・羽島円空資料館	県内を視察

②教育委員の学校等訪問

教育委員会会議の開催に合わせて、平成29年度においては市内の小・中学校等を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で、その学校の良さや、抱えている課題などを把握することに努めました。

期 日	午 前	午 後
平成29年 5月16日(火)	高須小学校	高須認定こども園
平成29年 5月29日(月)	日新中学校	
平成29年 6月21日(水)	吉里小学校	西島保育園
平成29年 6月22日(木)	西江小学校	
平成29年 6月27日(火)	今尾小学校	今尾認定こども園
平成29年 9月29日(金)	石津小学校	石津認定こども園
平成29年10月11日(水)	城山小学校	下多度幼稚園
平成29年10月18日(水)	平田中学校	
平成29年10月30日(火)	海西小学校	海西保育園
平成29年11月 2日(木)	下多度小学校究発表会	
平成29年11月20日(月)	東江小学校研究発表会	
平成29年11月21日(火)	城南中学校研究発表会	
平成29年11月27日(月)	大江小学校	

③総合教育会議への出席

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成27年度から「海津市総合教育会議」を設置しました。会議は市長と教育委員会で構成され、互いが十分な意思疎通を図り教育課題を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するために市長が招集するもので、以下のとおり開催され出席しました。

回数	期 日	場 所	案 件
第1回	平成29年 9月14日(木)	海津総合福祉会館 「ひまわり」	2件
第2回	平成30年 2月13日(火)	海津市役所 東館 災害対策本部室	2件

④教育委員の関係行事等への出席

期 日	行 事 等	場 所	
4月	5日(水)	小中学校教職員等着任式	文化センター
	6日(木)	小中学校入学式	各小中学校
	7日(金)	幼保認定こども園入園式	各幼保認定こども園
5月	27日(土)	運動会	高須小学校
	31日(水)	スポーツフェスタ	平田中学校
9月	14日(木)	体育大会	日新・城南中学校
	16日(土)	運動会	吉里・東江・大江・西江・今尾・海西・石津・城山・下多度小学校
10月	25日(水)	市小中学校音楽会	文化センター
1月	19日(金)	教育研究大会	文化センター
3月	6日(火)	卒業式	各中学校
	23日(金)	卒業式	各小学校
	26日(月)	小中学校教職員等離任式 幼保認定こども園卒園式	文化センター 各幼保認定こども園

⑤広報活動

定期的に開催する教育委員会会議をはじめとして、その主な活動は、海津市ホームページで公開しました。

今後もより一層、市民の皆様のご理解とご協力を得るため、広報紙やホームページ等、既存のメディアの活用方法を工夫する必要があると考えています。

3 「海津市教育振興基本計画」に基づく事業の行程管理及び執行状況の評価

海津市教育委員会では、本市の教育行政について「どのようにしたいか。」また、「そのために何をすればよいか。」とその姿勢と政策の方向を明らかにし、より良い教育環境づくりを推進するために、毎年、リーフレット「海津市の教育」を作成してきました。さらに、平成26年3月にはその集大成といえる「海津市教育振興基本計画」を策定しました。

この報告書は、「海津市教育振興基本計画」の3つの基本的視点、6つの基本目標からなる重点施策ごとに点検・評価を行い、その取り組み状況や教育委員の意見を取りまとめたものです。

(1) 海津市の教育理念

【基本理念】

「いのち」をつなぐ教育

愛情と思いやりに溢れた一人一人の生命が
つながり生きる喜びを感じる教育

基本目標	施 策	基 本 施 策
良好な学校教育環境の整備・充実	就学前教育の充実	①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進
		②幼保小の連携強化
		③認定こども園、幼稚園、保育園の適正規模の推進
		④認定こども園、幼稚園、保育園での読み聞かせ
		⑤多様な保育サービスの提供
	学校教育の充実	①軸を明確にした学校経営の構造化
		②確かな学力を身につけさせ「生きる力」を育む指導の充実
		③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実
		④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実
		⑤学習意欲を高める指導や取組の充実
		⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫
		⑦特別支援教育に関わる教職員の研修
		⑧キャリア教育の推進
		⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進
	教育設備の充実	①学校施設の大規模改修の推進
②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進		
③エアコンの計画的整備		

	豊かな心の育成	①道徳教育の充実
		②多様な体験活動の推進
		③人権同和教育の充実
	教職員の資質の向上	①「海津市教育スタンダード」の構築
		②教職員研修の充実
		③研究授業や公開授業、交流授業等の促進
		④核となる人材育成の推進
	学校給食の充実及び食育の推進	①地域全体で取り組む食育の推進
		②学校給食の充実
		③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底
		④効率的な運用
	中学校の適正配置	①南濃町地内中学校適正配置の推進
②統合中学校校舎の整備		
生涯学習環境の整備・充実	生涯学習環境の充実	①学習ニーズの把握
		②学習環境の整備
		③学習情報の整備
		④地域住民が集う場の提供
		⑤施設環境の整備
	多様な学習機会の提供	①生涯学習活動と指導者の育成
		②生涯学習情報の共有
		③生涯学習の意識啓発
		④図書館や資料館等の学習機関の充実
	新たな学習活動への支援	①高齢者の持つ技能の伝承
		②学習活動を支援する人材の活用
		③学習情報の提供方法の工夫
青少年の健全育成	地域で進める青少年の健全育成	①「こども健全育成指針」の推進
		②組織的な活動の充実
		③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上
	家庭教育力の向上	①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進
		②子育て学習の提供と相談体制の充実
		③家庭教育学級の工夫・改善と充実
文化の振興	文化の継承と発展	①指定文化財の保存・保護、後継者の育成
		②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究
		③文化資源の活用
	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	①文化財の情報発信と周知
		②自然・歴史資源の発見と活用

	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動	①市民文化活動への支援 ②文化や芸術に親しむ心を育む ③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ④多様な芸術活動の支援	
スポーツ活動の振興	スポーツ施設の整備と有効活用	①スポーツ施設の計画的な改修 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ③スポーツ施設の利用促進	
		スポーツ活動の充実	①スポーツ少年団の育成 ②市民参加型スポーツ活動の推進 ③高齢者や障害者スポーツ活動の推進 ④総合型地域スポーツクラブの支援
			競技スポーツ活動の支援
	地域間交流の推進		



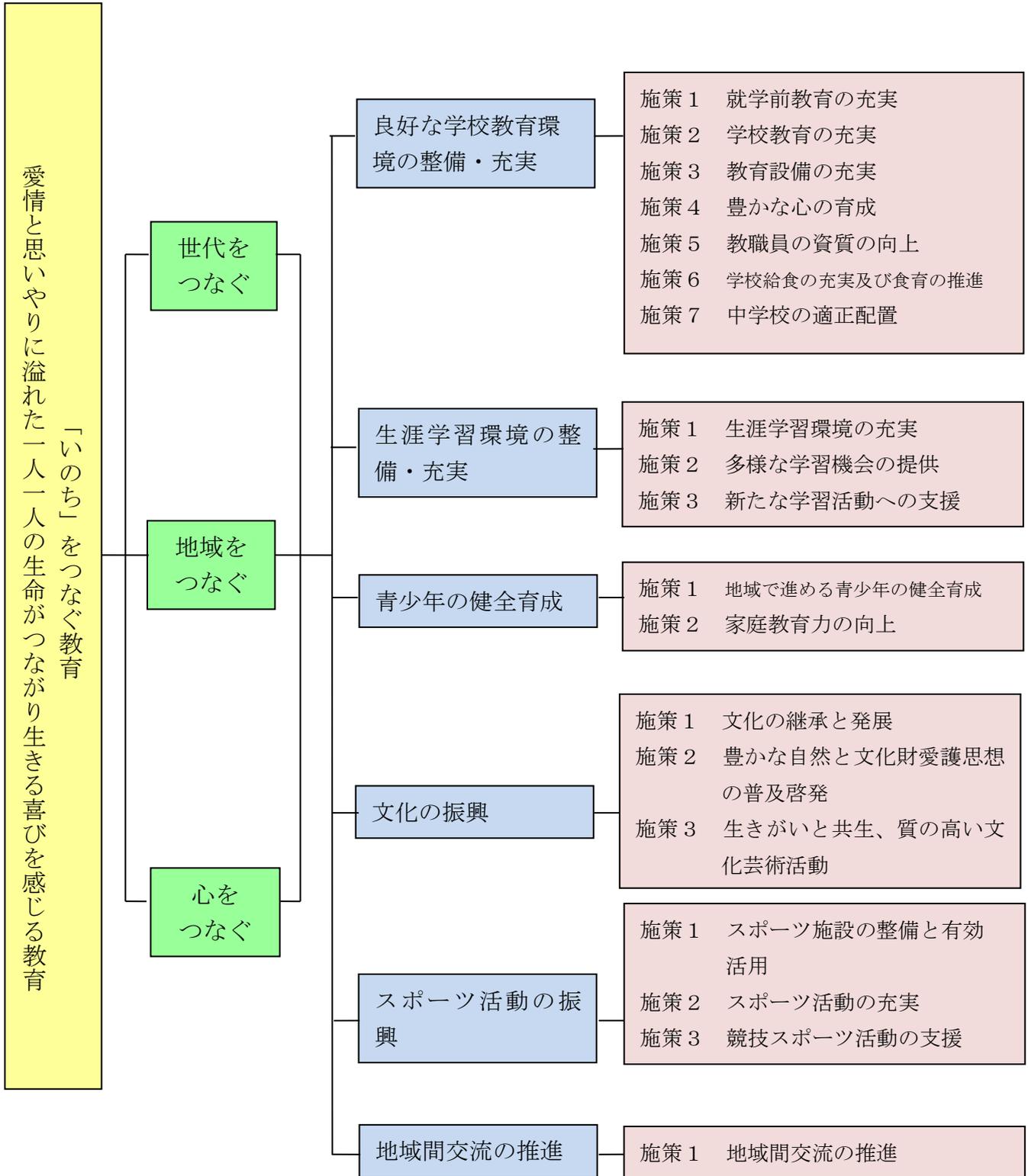
(2) 計画の体系

【基本理念】

【基本的視点】

【基本目標】

【施策】



(3) 施策別評価

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
施策	就学前教育の充実
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもがのびのびと活動できる環境づくりや指導を行った。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・幼保小連絡協議会等のほか、各園ともに小学校との交流活動を実施した。</p> <p>③認定こども園、幼稚園・保育園の適正規模の推進 ・「海津市公立保育所等民営化・統廃合計画」に基づき、H30.4.1からの2保育園の民営化及び1幼稚園の廃園のための準備作業を行った。</p> <p>④認定こども園、幼稚園、保育園での読み聞かせ ・各園で幼児教育・保育の一環として本の読み聞かせを行った。</p> <p>⑤多様な保育サービスの提供 ・子ども・子育てに関する事業を計画的に推進した。</p>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・一人一人の発達に応じた環境整備と幼児期にふさわしい基本的生活習慣、規範意識、道徳性が身につくよう指導を行い、幼児教育の提供に努めた。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・幼保小連携協議会の開催のほか、幼児教育保育研究会を5回開催して、アプローチカリキュラムに沿ってH29年度は「基礎的体力を育てる運動・遊び」に取り組み、「運動遊びの題材と段階表」を作成し幼保小の連携に努めた。また、各園では、さつまいもの収穫や運動会への参加など小学校との交流を深めた。</p> <p>③認定こども園、幼稚園・保育園の適正規模の推進 ・市立保育園2園の民営化、市立幼稚園の廃園の議決を受け、H30.4.1からの実施に向けた手続きや準備作業を行い、予定どおり民営化及び廃園を行うことができた。</p> <p>④認定こども園、幼稚園、保育園での読み聞かせ ・発達段階にあった読み聞かせを行い、幼児期からの本への親しみや読書習慣を身につけさせることができた。</p> <p>⑤多様な保育サービスの提供 ・「子ども・子育て支援事業計画」の中間年におけるニーズ量の見込み等の見直しを行った。また、一時預かり保育・地域子育て支援センター等の機能拡充に努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもたちを主体に考え、質の高い教育・保育を推進していくため、更なる保育士等の資質向上を図る必要がある。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・幼児教育から小学校教育への円滑な移行に向け、引き続き園と小学校の交</p>

	<p>流を深める必要がある。</p> <p>③認定こども園、幼稚園、保育園等の適正規模の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の少子化の動向を踏まえ、今後も民営化・統廃合について、適正な規模・必要性を検討していく。 <p>④多様な保育サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議等を通して市民のニーズを把握し、子ども・子育て支援サービスを整備していく必要がある。 	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	こども課	



基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
施策	学校教育の充実
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①軸を明確にした学校経営の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校にて学校経営全体構想を作成し、教育委員訪問にて、校長より説明 <p>②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校にて研修計画を作成。主題設定及び具体的計画をもとに、学年部会、教科部会等で共通理解、共通実践を図った。 <p>③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市統一テスト（小学校5年生・中学校2年生）の実施及び結果分析 ・算数、数学においては、少人数指導及びT. T（ティームティーチング）を行い、きめ細かな指導を図った。 ・小学校では、専門的な指導の充実を図るため学校の実態に応じて教科担任制を導入した。（社会、理科、算数、音楽、図工等） <p>④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT（外国語指導助手）を配置して、英語や外国語活動における児童生徒のコミュニケーション能力の向上に努めた。 ・朝読書の時間の確保や学校図書館の積極的な活用などを行い、西濃地区学校図書館教育賞に応募した。 <p>⑤学習意欲を高める指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習や体験活動の機会を増やし、児童生徒の学習に対する興味・関心が高まるように努めた。 ・城南中学校にタブレット41台を導入した。 <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課、発達支援センターや幼保、学校等が密接な連携を図り、一人一人の実態及び教育的ニーズをしっかりと把握した。 <p>⑦特別支援教育に関わる教職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校にて、特別支援教育コーディネーター等を中心に、計画的に特別支援教育に関する研修を実施した。 <p>⑧キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・98の市内事業所にて、中学2年生生徒339人が職場体験学習を行った。 <p>⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化や伝統文化を学ぶ機会として狂言や万歳に取り組んだ。 ・各校版の防災ノートを配布し、活用した。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①軸を明確にした学校経営の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の学校経営方針がより明確になり、教職員が共通理解して取り組んでいることが、児童生徒のめざす姿につながっていた。 <p>③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市統一テスト及び全国・県の学力・学習状況調査の結果分析を行い、授業改善等に取り組むことができた。 <p>④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西濃地区学校図書館教育賞では、平田中学校の最優秀賞をはじめ多くの学校が入賞することができた。 <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支援センターや関係諸機関との連携により、一人一人の実態に応じた

	<p>指導をより丁寧に行い、児童生徒が安心して学習に臨むことができた。</p> <p>⑧キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入事業所や地域におけるキャリア教育への理解が年々深まってきており、生徒を教育的に認め励ましてもらえるようになっている。 ・生徒も学校とは違う環境で新たな自分の良さに気づき、働くことの価値ややりがいを味わうなどして、その後の学校生活にも変化が見られるようになった。 <p>⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土学習のための手引きが完成し、活用できる環境が整った。 ・大江小学校の狂言（失せうろこ）、東江小学校の立野万歳、海西小学校でも狂言（狐鬼灯）に取り組み続けることができた。 ・各校版の防災ノートを活用し、災害に適切に対応する能力を身に付けられるように段階的な指導ができた。火災や地震だけでなくライフジャケットを着用して泳ぐなど大雨洪水を想定した訓練にも取り組むことができた。 <p>【課題】</p> <p>②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が教材研究を丁寧に行い、児童生徒、教師にとって楽しい授業をつくっていくことが何よりも大切である。そのための時間の確保や見届けを充実させる必要がある。 <p>⑤学習意欲を高める指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板等の有効な活用方法に関する研修会を実施したり、多くの学校にタブレット機器を導入するなどして、一層の充実を図る必要がある。 <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費の支援員等と担任との連携を図り、指導法の工夫改善のためのニーズに応じた教員研修の充実が必要である。 <p>⑦特別支援教育に関わる教職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援の手引きを活用して組織で対応できる学校体制作りが必要である。特別な支援はそれが必要な児童生徒だけでなく、その他の児童生徒にとっても有効であるとする考え方を大切にしたい。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	教育設備の充実	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①学校施設の大規模改修の推進 ・日新中学校大規模改造工事を行った。 ②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進 ・日新中学校大規模改造工事に併せ、トイレの洋式化や特別支援教室への対応を図った。 ③エアコンの計画的整備 ・日新中学校に空調設備を設置した。	
成果課題等	【成果】 ①学校施設の大規模改修の推進 ・日新中学校は昭和 57 年に建築され、経年により学校建物の損耗、機能低下がみられたことにより、大規模改造工事を施工し、教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図ることができた。また、大規模改造工事に併せて、建具の転倒防止及び窓ガラスの飛散防止などの非構造部材の耐震対策を実施し、安全性を確保することができた。 ②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進 ・日新中学校大規模改造工事に併せ、トイレの洋式化と特別支援教室改修を行い、バリアフリーにすることができた。 ③エアコンの計画的整備 ・日新中学校の大規模改造工事に併せ空調設備を設置し環境を改善することができた。 【課題】 ①学校施設の大規模改修の推進 ・国庫補助や既存設備の補助年限との関連も見極めながら、計画的に小中学校の大規模改修を行っていく必要がある。 ・非構造部材の耐震診断業務の結果に基づき、改修工事を行うとともに国の補助金等の活用により大規模改修工事を進める必要がある。 ・学校の適正規模等及び適正配置の検討状況に併せ、大規模改修を行う必要がある。 ②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進 ・教育環境の充実を図るため、計画的にトイレの洋式化を進めていく必要がある。 ③エアコンの計画的整備 ・小学校の空調設備についてはすべての学校で設置が完了した。今後は、国庫補助や既存設備の補助年限との関連も見極めながら、校舎の大規模改修工事と併せてエアコンの改修工事をする必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	教育総務課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	豊かな心の育成	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧平田町の3校の道徳教育計画訪問が行われた。 <p>②多様な体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の実態に応じ、各教科や総合的な学習の時間、特別活動など教育活動全体を通じて、自然体験、社会体験、ボランティア体験、異学年や高齢者との交流活動などの体験的・実践的活動を推進した。 <p>③人権同和教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重と人間平等の基本理念を確立するとともに、日常生活に潜在する差別や偏見の解消に努めた。また、地域ぐるみで人権教育を推進した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が仲間と関わり合いながら学んだり、資料に登場する主人公の変化を考えたりすることを通して、自己を見つめる活動を大切にした実践が見られた。 <p>②多様な体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学校もできる限りの体験的な活動を位置付け、児童生徒が主体的に取り組めるように指導できた。 <p>③人権同和教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校では、挨拶運動や友達への感謝の思いを伝え合う活動、よさを認め合う活動等を通して自己有用感を高め、意図的・計画的に人権尊重の気風がみなぎる学校づくりを進めることができた。 <p>【課題】</p> <p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態把握を大切にし、道徳の時間のねらいをさらに明確にしていく必要がある。 ・「特別の教科 道徳」の導入に伴い、「考え議論する道徳」の一層の充実と、具体的な指導計画を立案する必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	教職員の資質の向上	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「海津市教育スタンダード」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校が学校スタンダードを紙面で明示し、教育委員会学校訪問等の機会を通して、教職員間での共通理解を深めた。 <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海津市教育研究所を核として、教職員の経験や時代の変化に応じた研修を行った（情報モラル、特別支援教育、人権同和教育など）。 <p>③研究授業や公開授業、交流授業等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校入学説明会を市内同時開催し、小・中の連携を図った。 <p>④核となる人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手人材養成研修、中堅幹部研修を各年4回開催し、各学校のリーダーとして必要な資質について研修した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「海津市教育スタンダード」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築した学校スタンダードの共通理解を図ったことで、若手・ベテランにかかわらず教職員の指導や言動に統一感が生まれ、児童生徒の姿から定着してきていることがうかがえた。 ・各学校で作成された「学校スタンダード『〇〇学校の授業はこれだ!!』」の交流を教務主任会等で行い、各校の実践状況が把握できた。 <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じ研修会とならないよう、講師の選定や内容について吟味することができた。 <p>【課題】</p> <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画配置による若手教員の増加に伴い、3年以内で転出する教員が多い。また、30代前半までの教員と50代の教員が多いことから、将来を見据えた地域の教員の育成が急務である。 ・勤務時間の適正化を踏まえ、学校の課題や時間的ニーズに応じた研修を充実させる必要がある。 <p>④核となる人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての魅力や資質能力を高める研修の充実を図るとともに、学校等のニーズに応じた研修を実施する必要がある。 ・勤務の適正化に取り組むことで、より児童生徒に向き合う時間を確保する必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課、教育研究所	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
施策	学校給食の充実及び食育の推進
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①地域全体で取り組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を図るための献立を積極的に取り入れた。 ・生産者や委託業者と連携した食育活動を行った。 ・保護者や地域への情報発信、啓発活動を行った。 <p>②学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業の食材を活用した料理、日本各地の郷土料理、外国料理、時代の要請に即した献立を実施した。 ・献立打合せ会の充実を図った。 <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者と連携した衛生管理と事故防止の徹底に努めた。 <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行った。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①地域全体で取り組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内農産物（きゅうり、トマト、なす、南濃みかんなど）を定期的に給食献立に取り入れ、地産地消の良さを献立表に掲載したり、学級活動や教科、総合的な学習の時間などの場で紹介できた。また、機会をとらえ、生産者や委託業者と連携した食育活動（月2、3回）や、保護者対象の給食試食会（年間15回）などを実施し、情報発信や啓発に努めることができた。 ・栄養教諭の学校訪問時に食育の推進をすることができた。 <p>②学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立の打合せ等十分に検討を行い、地産地消を進める「食育の日」献立（毎月19日）のほかに、「海津の食材の日」献立（毎月1日）を定め実施した。また、日本各地の郷土料理、外国料理、防災や復興支援、健康増進など時代の要請に即した献立も実施し、「給食がおいしい。毎日が楽しみ。」といった声も多く聞かれ、食事内容の充実を図ることができた。児童生徒の残食率は、給食センター開設から9年経過したが、当時から比べると、小学校は、平均8%から平均3%に減少、中学校は、平均3%から平均1%に減少している。 <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の調理にあたり、食中毒やノロウイルス等を予防するために設備の適正管理に努め、安心安全な給食を提供することができた。 ・委託業者の衛生管理は、作業前の個人衛生チェック、朝礼・昼礼・終礼での連絡、報告、反省会など、日常的に指導や注意喚起がなされている。また、月1回の衛生教育と同時にテストの実施、年2回の安全担当責任者(ATS)

	<p>による衛生教育も行われており、事故防止の徹底に努めることができた。</p> <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者では、電気・ガス・水道水等の適正な使用とその削減をQC（クオリティ・コントロール、品質管理）活動に位置づけ、周知徹底されており、光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行うことができた。 ・社会情勢による食材価格の変動に伴い、献立の見直し等を行うなど、効率的かつ適正な給食運用を図ることができた。 <p>【課題】</p> <p>①地域全体で取組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先的に市内農産物を使用することを心掛けているが、生産・使用時期、生産・使用量、調理方法等の問題が多く、毎年、全体使用量の5%程度に止まっているため、生産者や取扱業者とのより一層の連携を図り、地産地消を推進していく必要がある。 ・学校と連携を取り栄養教諭から食育の推進を、一層していく必要がある。 <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な給食の提供にあたり、市と委託業者との連携を密にし運用を行い、機械等の整備・点検に努める必要がある。 <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と委託業者と連携を密にし、安心・安全で、よりおいしい給食を提供するための工夫や改善、従業員の調理技術の向上を働きかける必要がある。 ・異物の混入に対し、納入業者・製造業者への指導等強化に努める必要がある。
内部評価	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校給食センター



基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	中学校の適正配置	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①南濃町地内中学校適正配置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月1日、南濃中学校と城南中学校を統合した。 ・統合に伴い、養老鉄道を利用して通学する生徒の通学路において危険個所であった駒野駅西の踏切に平成29年8月に遮断機が設置された。また、養老鉄道美濃山崎駅に駐輪場を整備した。 ・旧南濃中学校跡地について、「旧南濃中学校跡地利用者募集要項」を策定し、利用者を募集した。 <p>②統合中学校舎の整備 (・平成28年度に統合中学校舎の整備は完了)</p>	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①南濃町地内中学校適正配置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合後の通学路において、踏切の遮断機や注意看板の設置等により、生徒の安全を確保することができた。 ・旧南濃中学校跡地について、有効利用するために行った利用者募集に1者から応募があった。 <p>【課題】</p> <p>①南濃町地内中学校適正配置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も生徒が安心して通学できるよう通学路等の現況調査を行い、危険箇所については、「通学路安全プログラム」に諮り、対策を検討していく必要がある。 ・旧南濃中学校跡地について、1者から応募があったが、今後、「南濃中学校跡地利用候補者選定委員会」にて審査する等、事務手続きを進めていく必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	教育総務課	

基本目標	生涯学習環境の整備・充実
施策	生涯学習環境の充実
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児講座・子ども教室・高齢者学級・成人講座・公開講座・女性セミナー・情報講座・キッチン大学講座などを開講した。 <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動ができ、集う場として活用できる施設を優先的に提供した。 <p>③学習情報の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報を冊子にまとめたことにより、情報の集約を図った。 <p>④地域住民が集う場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の家等施設の共有部分（ロビー）等について開放し、作品展示等活動の成果を発表できる場を提供した。 <p>⑤施設環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センターの屋根防水・空調修理・防犯カメラ増設、みかげの森空調機修理、働く女性の家排水管修理等、その他随時修繕を行った。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>① 学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存講座の見直しだけでなく、親子で参加できる講座（はじめてのおてつだい講座等）4講座を開設し、興味のもてる学習内容をテーマにするなどして、受講者が満足できる学習環境の充実ができた。 <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設予約においては、本課が管理する施設での主管する学習講座やサークル活動について、優先的に部屋の利用を確保するシステムにした結果、継続的な活動に支障がなくなった。 <p>③学習情報の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習情報は「生涯学習の案内」を冊子にまとめ、年度初めの4月に全世帯に配布するとともに、短期講座募集についても、その都度、市報へ掲載し幅広く周知することができた。 <p>⑤施設環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による改善工事や不具合箇所の修繕など、より安心で快適に施設利用をして頂けるよう配慮した。 <p>【課題】</p> <p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人講座では受講者の減少が見られる講座もあるので、市民の要望も踏まえながら、時代に即した講座との入れ替えを図っていく必要がある。 <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本課が管理する施設は市内各所に有り、市民が十分に活動できる場を提供している。しかし、職員配置に於いて、申込時期制限や無人施設、夜間は利用時のみ開館しているなど、利用希望者に不便をかけるため管理形態を含めた対応を検討する必要がある。

	<p>③地域住民が集う場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が気軽に参加できる講座開設及び展示の場の提供などが必要である。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実
施策	多様な学習機会の提供
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を通じて心豊かに多様な学習活動ができるよう、様々な学習機会の提供を図るとともに、指導者の発掘・育成に努めた。 ・ボランティア講師の登録制度の充実と活用を図った。 <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習情報の内容をわかりやすくまとめ、公開方法の工夫を図った。 <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上を図るために受講生に講座のあり方について周知を図った。 <p>④図書館や資料館等の学習機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能舞台を利用した「海津の能」・「狂言」の上演を実施した。 ・「低地のくらし」をテーマに堀田を利用した体験学習などを実施した。 ・雑誌情報を始め、ブックスタート・読み聞かせ会など読書支援を図った。また、子ども読書活動推進計画、読書通帳の推進を図り学習意欲の充実に努めた。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講師の再登録（21名）の有無と具体的な指導内容を再確認し、実践的なボランティア学習講座の開講をすることができた。また、新規に2名の方が登録された。 <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習情報は、様々な関係機関により趣味・教養・文化・健康・まちづくり講座などを開設しているため、その情報の共有を図るため「生涯学習の冊子」にまとめることにより、一元的な学習情報の提供ができた。 <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声かけなどをして、生涯学習への意識啓発を行うことができた。 <p>④図書館や資料館等の学習機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館では、蔵書の充実により利用促進を図り、新たな読書通帳の発行は144人あった。資料館では、展示施設「堀田」を利用した体験学習など市内の小学生を対象に郷土の歴史に親しむ学習ができた。また、「海津の能」「かいづの狂言」を開催し、約450人の来館者の増加に繋がった。 <p>【課題】</p> <p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録を受け付け、全世帯配布の生涯学習の冊子に掲載し、サークル活動の支援に当たっている。サークルは中高年対象のものが多く、学齢期の児童生徒や若者のサークルを充実させるために、子どもの講座をサークルに移行するなど、充実に向けた工夫をする必要がある。また、指導者につ

	<p>いては、子ども教室などの学習活動に接する機会を提供しながら育成する必要がある。</p> <p>②生涯学習情報の共有 ・市の情報に止まらず、大学や関係機関など学習情報を共有する必要がある。</p> <p>③生涯学習の意識啓発 ・様々な会の折に、講座の紹介や生涯学習への啓発をするなど、そのような場を増やしていく必要がある。</p> <p>④図書館や資料館等の学習機関の機能充実 ・図書館では、子ども読書活動推進計画に基づき利用者サービスの向上、また、海津図書館・平田図書館・南濃図書館の機能再編や、資料館では、専門性の高い学習施設として機能充実を図るため、今後のあり方を検討する必要がある。</p>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、図書館、歴史民俗資料館	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実	
施策	新たな学習活動への支援	
基本施策	①高齢者の持つ技能の伝承 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師の登用を行い、人材を活用した学習講座を開講、また、子どもを中心とした「ふるさと楽校」里山体験講座も実施した。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・冊子の配布方法や情報提供の方法の改善を図った。	
〔事業内容実績対象者等〕		
成果課題等	【成果】 ①高齢者の持つ技能の伝承 ・地域の高齢者が講師となり、夏に「竹炭を使った工作教室」、冬に「親子しめ縄作り教室」を開催した。昔ながらの技術を学びながら製作できた。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・積極的に講座の開設を行い、地域住民に還元できる環境づくりと人材の確保ができた。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・「生涯学習の案内」の冊子を全世帯に配布するだけでなく、ホームページでも講座の内容を紹介することにより、学習情報の改善に努めることができた。 【課題】 ①高齢者の持つ技能の伝承 ・学校教育では、祖父母参観や総合学習時に高齢者の技能を生かした取組が実施されているが、小中学生を対象に昔から伝わる伝統技能の伝承と実技指導ができる講座の立案など、高齢者の持つ技術によるふるさと学習を計画的に取組む必要がある。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師という人材を活用できる、更なる学習活動の企画・計画が必要である。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・より見やすい冊子やホームページづくりをしていく必要がある。 ・クラブサークルの活動内容を施設での展示やチラシで周知するなど、更なる取り組みが必要である。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標	青少年の健全育成
施策	地域で進める青少年の健全育成
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会で策定した指針により、市民ぐるみの健全育成を図った。 <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民大会・青少年推進員活動・子ども会活動・スクールボランティア等による見守り活動・市民運動など、健全育成活動の情報共有を図った。 ・情報モラルアンケートが市PTA連合会により実施され、その結果をもとに、スクールサミットを開催し、「あったかい絆宣言」の取り組みを行った。 <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会大会・ジュニアリーダー研修会等を実施した。 ・サポートリーダー養成講座・家庭教育講演会を開講した。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の推進にあたり青少年育成団体が集まる会議に指針を提示し、青少年活動の推進を足並みそろえて行おうとすることができた。 <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年推進員会の活動において、「情報モラルワークショップ」を開催したり、校区内の通学路点検を行ったりするなど、安全安心な地域づくりのために充実した活動を行うことができた。 ・子ども会活動では、「単位子ども会活動」が盛り上がるように、活動の支援の計画や行事の精選など円滑に運営することができた。 ・市民大会では、「あったかい絆宣言」の取り組みの紹介や講演会を開催するなど、青少年健全育成活動を広く紹介することができた。参加者数は352名であり、多くの市民の方に参加していただけた。 ・市民運動である「あったかい言葉かけ運動」の広報活動をしたことで、前年度に比べて約900名の参加者の増加があった。また、高校生の参加もたくさんあり運動を周知することができた。 ・情報モラルアンケートにより多くの成果と課題を共有できるだけでなく、課題については、スクールサミットを開催し、市内各小中高の学校代表者により、情報モラル等についての話し合いを行うことができた。 <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会などを開催し、青少年活動についての資質向上を行うことができた。 <p>【課題】</p> <p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も青少年に関わる全ての関係機関が参加し健全育成が図れるよう、市域全体の指針を作り、共有できるようにすることが必要である。 <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年に関わる団体間の横のつながりを図る必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数の減少や負担感もあり、単位子ども会活動が難しくなっている。 ・継続的に情報モラル向上の為の対策を講じる必要がある。 ・「あったかい絆宣言」が、学校や家庭において浸透し、理解が得られているように、さらに具体的な対策をする必要がある。 <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動や取り組みに対して、目的を明確にして、より効果的な内容になるように計画を再考する必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	

基本目標	青少年の健全育成
施策	家庭教育力の向上
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にこにこ子育て支援事業による講座・研修・相談事業等の推進を図った。 <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援員の配置による家庭教育に関する相談室を開設し相談体制の充実を図った。就学前検診時に入学前の親育ち講座の講話など様々な状況にある親のための学習機会を提供した。 <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のすべての園・学校で家庭教育学級を開講し、子育てやしつけを気軽に語り合える場や研修会を実施した。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な家庭教育支援事業の推進により、基本的な生活習慣を整えるだけではなく、思いやりの心を大切にできる、「あ（あったかい言葉）・た（時間）・り（読書）・ま（マナー）・え（笑顔）」を意識した親子関係の構築ができた。 <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援員の配置に伴い「にこにこ相談室」を開設し、支援体制の充実を図った。来所相談（68件）・電話・メール相談（176件）・訪問型家庭教育支援（43回）の対応をした。また支援員による就学前検診時に入学前の親を対象とした「子育て親育ち講座」、子育てにかかわる親・祖父母・地域の子育て支援に関わる方を対象とした「子育ておもしろ心理学講座」等8講座を開催し、子育ての悩みや保護者に寄り添い、不安の軽減を図れるよう企画することができた。 ・「相談体制の充実」では、家庭教育支援員による相談室の周知に心がけ、相談者が相談しやすい時間帯に勤務条件を変更したため、利用者が増えた。 <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立の園も含めて市内全園・学校の参加があり、家庭教育学級を拡充することができた。 <p>【課題】</p> <p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援事業（にこにこ子育て支援事業）については、支援策の再確認をすることにより質の向上・周知の方法、事業の必要性を検証する必要がある。 <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらにいろいろな相談機関等と連携協力できる相談体制の充実を図る必要がある。 <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある研修会の在り方や参加しやすい取り組みを検討する必要がある。

内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	社会教育課	



基本目標	文化の振興	
施策	文化の継承と発展	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①指定文化財の保護・活用、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財保護として保存継承に2件、保存経費に3件補助した。 ・大垣東高等学校による海津市及びその周辺に生息するハリヨの遺伝子調査 個体数調査を実施した。 <p>②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早川邸の記録保存調査（27・28年計画）の2年目を実施した。 <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の教育資源を活用した小学校出前講座を開設した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①指定文化財の保護・活用、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハリヨシンポジウムを開催し、ハリヨに関心を持ち、環境保全に対する啓 発を高めることができた。 ・北部浄水公園ハリヨ生息地を改修したことにより、ハリヨによりよい生息 環境を整備でき、新たな観光資源としても活用できるようになった。 <p>②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早川邸についての調査成果をまとめ、日本近代史の一端を現在に伝える貴 重な和風建築物として再認識することができた。 <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資源を活用した出前講座により文化財の価値観を高め、地域振興に努 めることができた。 <p>【課題】</p> <p>① 指定文化財の保護・活用、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハリヨ生息地については、今回整備した北部浄水公園のみならず国の天然 記念物である津屋川水系清水池ハリヨ生息地など市内の生息地を含め、将 来的に国指定を追加指定するなどし、広域的な保護活動をしていく必要が ある。 ・早川邸については、将来的な見通しを持ち、今後の管理・整備計画を立て ていく必要がある。 ・埋蔵文化財については、調査及び報告書を作成するだけで終わるのではな く、遺物を公開展示することが必要である。 <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる文化財資源の発掘や価値観を高める必要がある。 ・蓄積された歴史研究資料を活用しての企画展示等をする必要がある。 	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	

基本目標	文化の振興	
施策	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	
基本施策 事業内容 実績 対象者等	<p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとおもてなし隊との連携による郷土の案内を実施した。 ・郷土の歴史資源を活用した歴史探訪を実施した。 ・名古屋城関連イベント「尾張×高須～葵のキズナ～」を開催し、歴史講演及び創作狂言の鑑賞会を実施した。 <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種出前講座において、養老山地と木曾三川が織り成す自然や産業など歴史資源の情報発信を図った。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡巡りなどを実施し郷土の歴史を紹介できた。 ・歴史講演会の開催により松平高須藩三万石の顕彰と高須藩四兄弟についてより学べる機会の充実を図り、講演会では約140人の受講者があった。 ・歴史探訪講座により、広く一般市民に郷土の文化資源を紹介できた <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハリヨや古墳など郷土文化の情報発信により、より多くの分野で多種多様な歴史資源の創出やふるさとを見つめ直すことができた。 <p>【課題】</p> <p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なるふるさと地域資源の発掘が必要である。 <p>資料館については、郷土に伝わる史実及び新たな歴史資源の掘り起こしなど展示すべく資料の研究を進めながら、入館者の増大を図るための施設リニューアルを検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとおもてなし隊との更なる連携強化を図る必要がある。 <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史を紹介し学べる機会の創出など、更なる活用方法の再考が必要である。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	

基本目標	文化の振興
施策	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①市民文化活動への支援 ・文化協会への補助を行った。</p> <p>②文化や芸術に親しむ心を育む ・劇団はぐるま「夜空の下に降る花は」の公演を実施した。 ・小学3・4年生を対象に「スチールパンオーケストラコンサート」公演を実施した。</p> <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・市民創作劇「三川分流物語ーデ・レーケと輪中人^{わじゅうびと}ー」の本公演を実施した。</p> <p>④多様な芸術活動の支援 ・芸術作品にふれあう機会^{きかい}の場として文化展を開催した。 ・海津市児童合唱団「かいづっち合唱団」を設立した。</p>
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①市民文化活動への支援 ・市民が自主的に参加できる団体として内容の充実ができた。</p> <p>②文化や芸術に親しむ心を育む ・生の舞台芸術「夜空の下に降る花は」では約200人の来場者、小学3・4年生を対象に「スチールパンオーケストラコンサート」では約600人が参加し、芸術に親しむことができた。</p> <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・第2弾となる市民創作劇は、2回公演を実施し、両日ともチケットは完売し、芸術活動の奨励ができた。</p> <p>④多様な芸術活動の支援 ・文化展では、1人2作品まで出展の拡充をし、1日あたり約300人の来場者があった。 ・海津市児童合唱団「かいづっち合唱団」は、1期生として20名が入団し、市民文化祭などに出演し、多様な芸術活動の後押しをした。</p> <p>【課題】</p> <p>①市民文化活動への支援 ・会員数の伸びが鈍化しているため協会加入への呼びかけが必要である。</p> <p>②文化や芸術に親しむ心を育む ・鑑賞型から市民参加型にしていくために、市民が活躍できる場を増やしていく必要がある。</p> <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・更なる市民が参加しやすい創作活動が必要である。</p> <p>④多様な芸術活動の支援 ・来場者及び出展者が参加・来場しやすい企画の工夫が必要である。 ・「かいづっち合唱団」は、他の児童合唱団との交流会・学習会をする機会を</p>

	増やし、刺激を受け活躍の場を増やしていく必要がある。また、中学校の部活との両立、合唱部を作るなどして、合唱団が一時的なもので終わってしまわないような工夫が必要である。	
内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
施策	スポーツ施設の整備と有効活用	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①スポーツ施設の計画的な改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド・ゴルフ場の拡張を検討した。 <p>②スポーツ施設の長寿命化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西江小学校防球ネット修繕工事をはじめ、各体育施設の修繕を行った。 <p>③スポーツ施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設のPR促進と、効率的な利用のため毎月調整会議を行った。 ・体育施設の利活用の協議を行った。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①スポーツ施設の計画的な改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前よりグラウンド・ゴルフ協会から要望のあるグラウンド・ゴルフ場の増設の検討を実施した。 <p>②スポーツ施設の長寿命化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西江小学校防球ネット修繕工事をはじめ各体育施設の照明、放送設備をはじめ44か所の修繕を行い、長寿命化を図るとともにスポーツ施設の環境改善を図ることができた。又、市民プールの長寿命化を図るため、建築物調査を実施した。 <p>③スポーツ施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設等利用調整会議を開催し、体育施設等利用者の利便性を図ることができた。 ・体育施設の統廃合を図るため、地元自治会に協議を行った。 <p>【課題】</p> <p>②スポーツ施設の長寿命化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平田体育館の耐震補強、海津グラウンド及び平田テニスコート等の改修が必要である。 ・体育施設の統廃合を進めるため、地元自治会等と協議を継続していく必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興
施策	スポーツ活動の充実
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたスポーツ少年団を育てるための、団員及び指導者の育成に努めた。 <p>②市民参加型スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等との連携による市民参加型スポーツ行事を開催した。 <p>③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくスポーツに親しむ機会を提供した。 <p>④総合型地域スポーツクラブの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブの支援と市民のスポーツ活動への参加を促した。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西濃地区の交流大会・リーダー研修会への団員の参加や、認定員養成講習会・指導者研修会に指導者を派遣し、指導員の育成を行った。 <p>②市民参加型スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山、下多度において各地区の役員とともに軽スポーツ大会を開催し、お年寄りから子どもまで約300人の参加者があり、世代を超えた交流ができた。石津地区及び平田地区運動会は、台風等の影響で中止になった。 ・海津市スポーツ推進委員連絡協議会による海津市タスポニー交流大会が開催され、約100人の市民の参加があり、楽しんでもらえた。 ・水上スポーツフェスタ、ミナモマラソン大会を市体育協会、スポーツ推進員をはじめ各種団体の協力を得て開催することができ、各大会とも大勢の市民の参加があり、各競技に興味を持ってもらえた。 <p>③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進員がシッティングバレーボールを体験し、障がい者対象の教室にも生かせるよう研修を受講した。 ・健康課と協力し、各種団体・サークルに出前講座を実施し、軽スポーツによる健康維持を呼びかけた。 <p>④総合型地域スポーツクラブの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの地域スポーツクラブに対し、事務指導などの面において支援を行い南濃スポーツクラブの法人化に協力することができた。 <p>【課題】</p> <p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や生活環境の変化などの影響により団員数の減少が見られ、新規の団員の確保が困難な状況にある。 <p>③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催する軽スポーツや運動会などの行事は、幅広い世代の市民を対象とし

	ており、高齢者や障がい者を含めたスポーツ活動としては、それらの関係団体との協議が必要である。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
施策	競技スポーツ活動の支援	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①指導者の育成と確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の受講支援と指導者としての資質の向上に努めた。 <p>②選手の育成と強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ競技への参加促進と競技力・出場意欲の向上に努めた。 ・東京オリンピック事前キャンプ地としての誘致活動を実施した。 ・全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会のリハーサル大会および今年度の南東北大会を視察した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>②選手の育成と強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長良川 2020 東京五輪事前キャンプ誘致委員会において、カナダとボート競技の事前キャンプ視察を受け入れた。 ・オリンピック出場を目指す海津市出身の選手活動を支援した。 ・平成30年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会の成功に向けリハーサル大会を開催し、海津明誠高校の生徒に業務内容を知ってもらうことができた。また、今年度開催された南東北大会を視察し、大会の準備・運営手順等を体験することができた。 <p>【課題】</p> <p>②選手の育成と強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ競技への参加人数の増加を図る必要がある。 ・事前キャンプ誘致では、新たな対応が必要となった。 ・全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会では、いかに経費を抑え実施できるかを検討する必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	スポーツ課	

基本目標	地域間交流の推進	
施策	地域間交流の推進	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島生徒交流事業（訪問団：生徒20名）は、今年度（受入・訪問）研修を実施した。 ・酒田市児童交流事業は、海津市訪問団（20名）が酒田市へ訪問研修を実施した。 ・新たに実施する中学生のオランダ交流について、オランダ総領事館と打ち合わせを行い事前調査を行った。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島生徒交流事業及び酒田市児童交流について、ホームステイ等により、生徒や児童が地域性の違い等、身を持って感じる事ができた。又互いの郷土を誇りに想い、友好親善が深まった。 ・オランダ総領事館を通じ、オランダの情報を収集すると共に、交流対象の年齢や渡航時期、宿泊場所等、交流計画を策定した。 <p>【課題】</p> <p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両交流ともホームステイ型の受入のため年々参加者の確保が困難である、そのため交流プログラムの刷新や、市民への情報発信、日程等、今後の進め方に検討が必要である。 ・新たに実施する中学生のオランダ交流において、対象年齢や訪問時期等、国際交流のあり方について検討することが必要である。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	

4 外部評価（学識経験者による意見）

岐阜大学名誉教授

岩田 恵司

海津市教育委員会点検評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の定めにより教育委員会から提出を受けた資料及び平成30年10月5日の教育委員の皆様との懇談をもとに意見を述べさせていただきます。

同法律第26条に定める教育委員会の点検・評価書作成に関して、教育委員会では同法第21条に定める、その職務権限にかかわる事業及び活動を事務事業評価表にまとめられました。ここでは、平成26年度から実施の海津市教育振興基本計画の達成目標に向けて、本年度事業計画の立案・事業結果・事業評価・次年度に向けての課題整理が適切に整理区分されております。

基本計画に挙げられている積み上げ型事業

- ① 幼稚園・保育園の適正規模化の推進
- ② 海津市教育スタンダードの構築、
- ③ 中学校の適正配置
- ④ 学校施設の大規模改修、バリアフリー化、エアコンの整備

については、平成31年達成に向けての平成29年度事業計画の立案・実施が報告されています。

また、達成型事業については、単年度事業計画に基づき適切に実施され成果が得られていることが点検評価書に記されており、今後の検討課題などについて教育委員の皆様と意見交流ができました。

新教育委員会制度の下、教育委員会の活動を、事業計画・事業報告・点検評価の形で報告することが広く市民の皆様の理解を得るうえで、極めて大切であると実感しております。このことに関する教育委員会の真摯な取り組みは、今後、人口減少、少子高齢化が進むと予想される中、子供のよりよい教育環境を市民の皆様とともに作っていく中で生かされていくものと考えます。

義務教育は、受ける権利があるとともに、受ける義務・受けさせる義務が課せられています。その内容については学習指導要領によって定められています。その目的は今直ちに役に立つことではなく明日を担う日本国民として共通に身に着けておくべき内容に厳選されているはずです。その内容に疑義があれば、自らの考えを学習指導要領に反映させるべき働きかけをすべきであって、親の個人的な感覚で学校や義務教育を軽んずることは厳に慎むべきであると思います。実りある義務教育の実施には学校任せでなく、子供、地域、親などすべてが課せられた責任を果たすことが必要であります。

今後、人口減少とともに国、県、市すべてについて財政規模も縮小となります。今こそ義務教育はいかにあるべきかを国民の間で議論すべきであると思います。その結果として義務教育の経費は最も優先されるべき支出内容であるとの社会的合意形成が得られることとなります。

平成29年度 教育委員会の事務に関する点検評価報告書

発行日 平成30年11月発行

発行元 海津市教育委員会

〒503-0695

岐阜県海津市海津町高須 515 番地

TEL 0584-53-1467 Fax 0584-53-1608

E-mail : kyoikusomu@city.kaizu.lg.jp